

「マスクして打ち合わせ」でも職場感染 変異株の影響か

2021年4月30日（金）配信朝日新聞

新型コロナウイルスについて名古屋市が30日、緊急記者会見を開き、5月2日にも市内の病床が満床になる恐れがあると警鐘を鳴らした。「第3波」を超えるペースで[感染拡大](#)しており、変異株の影響ではないかと市はみている。

市の担当者は「変異株感染者のウイルス排出量は従来の100～1千倍という海外の論文もある」と説明。それだけ感染力が増しているとみられる。例えば、仕事場での打ち合わせで互いに[マスク](#)をしていたのに感染したとみられる事例も市内で起きているという。

市の7日間平均の新規[感染者数](#)は4月19日以降、「第3波」の2・4倍のペースで増加。このままでは5月4日に「第3波」の最大値136人を超えるという。入院者数も約2倍の増加率で、実際に使える市内の234床を5月2日に超える恐れがある。

目立つのが20～50代の感染の多さで4月19～25日は市内全体の75%を占めた。40～50代で急激に悪化し入院するケースが増えており、なかには[基礎疾患](#)がない30歳が[ECMO](#)（エクモ、[体外式膜型人工肺](#)）を使うほど重症化した例もある。重症者は19人で重症病床38床の半分が埋まったという。4月28日ごろから入院調整や救急搬送に時間がかかる事態になっており、市は愛知県と調整して病床確保の準備を進めている。市幹部は「400床確保したいが、一般の治療に影響するのも問題。感染状況に応じて各[医療機関](#)と交渉するしかない」と話す。

山田隆行・[新型コロナウイルス感染症](#)対策監は、大阪と似た状況だとし「軽い風邪ぐらいで終わるだろうというのは大きな間違い。全然ステージが違う。感染力が強く、1人かかれば家族全員陽性になる事例も枚挙にいとまがない」と若い世代に注意を呼びかける。高校生や大学生では部活動後の仲間内での飲食や友人とのカラオケ、20～30代では同僚や友人との会食で感染が広がっているという。市担当者は「屋外でも昼間でも飛沫（ひまつ）が飛ぶので感染リスクは変わらない」と、大型連休中の家族以外とのバーベキューや会食、公園飲み、帰省などは控えてと呼びかけている。